

**平成30年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数と理科の3教科を実施しました。

国語と算数の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	70.7%			○		
国語B	54.7%	○				
算数A	63.5%					○
算数B	51.5%	○				
理科	60.3%		○			

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	90.8%			○		
書くこと	73.8%	○				
読むこと	74.0%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.0%					○

【考察】

- 正しい漢字を選ぶ問題がよくできていました。毎日の学習の中で、文章を書くときに習った漢字を使って書くようにしていることや、漢字オリンピックに向けた取組の中で、繰り返し漢字練習をしている成果が現れました。
- 物語文の文章全体の構成(はじめ—中—終わり)をとらえて書くことができない児童が多かったです。今後、文章を読むときや作文を書くときには、構成を考えて読んだり書いたりする学習を多く取り入れていきます。
- 文章を読み、登場人物の気持ちをとらえるという問題にやや課題が見られました。前後の文章の内容を正しくとらえさせるとともに、たくさんの本に親しませ、見方や考え方を広げていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	64.6%	○				
書くこと	45.6%					○
読むこと	50.8%					○

【考察】

- 「書かれている文章の内容を正しくとらえて、限られた字数で自分の考えを明確にしながらまとめて書く」問題ができていました。国語に限らず、他の教科においても、学習した内容をまとめて書く活動を多く取り入れてきた成果と考えます。
- 「学級で話し合いをしている内容の文章を読み、質問者の意図をとらえる」問題に課題が見られました。話し合いをするときに、友達の意見を自分の考えと比べながらよく聞き、質問したり、自分の考えを見つめ直したりするという時間を授業の中で設定していきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
量と測定	72.7%					○
図 形	56.9%					○
数量関係	60.1%					○

【考 察】

- 基礎的な計算や角度、割合を求める問題がよくできていました。昨年度より複数の教師が算数科の授業に入り、個々の児童に合わせた問題を繰り返し行わせたり、できなかった問題について丁寧に説明してきたりしたことで基礎的な力が身につけてきました。
- 数直線上に数を表す問題はよくできていましたが、十進位取り記数法で表された数の大小の問題ができていませんでした。数直線上で数量の大小関係をとらえる学習を引き続き行うとともに、普段の生活の中でも数の大小や数量関係が正しく理解できるように指導していきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	58.4%	○				
量と測定	52.4%	○				
図 形	59.9%					○
数量関係	45.1%		○			

【考 察】

- 条件に合う図形を正しく見つけ出したり、図形の性質を理解して角度を求め、説明をしたりする問題がよくできていました。低学年での形あそびの学習から、発達段階に応じて、図形の名称や性質を正しく理解し、描くという学習を繰り返し行ってきた成果と考えます。
- グラフや表の読み取りに関する問題に課題が見られました。算数科に限らず、他教科でも目的に応じてグラフをつくったり、複数のグラフを関連付けて考えたりすることができる力をつけるため、資料を目的に応じて活用する機会を取り入れていきます。
- 長文を読み、数の規則性を見出す問題があまりできませんでした。問題に書かれている内容を順序よく読み解き、解決するための条件を見つけながら答えを導き出す力を、数多くの問題を解くことを通してつけていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物 質	59.8%	○				
エネルギー	53.1%		○			
生 命	73.6%	○				
地 球	49.5%					○

【考 察】

- 「流れる水のはたらき」に関する問題がよくできていました。授業で実際に砂場で水を流し、どのように土地が削られるか、堆積するかという実感を伴った学習をした結果の現れです。今後も実感を伴う活動を多く取り入れていきます。
- 太陽の動きを考え、光電池の置き方を問う問題に課題が見られました。学習した内容を生かして考えることや、実験結果を比較しながら根拠を基にまとめる力をつけるため、根拠を基に自分の考えを述べたり、様々な考えを比較したりする活動を取り入れたいと考えています。
- 正しい手順の仕方について誤りが見られました。器具の操作にどのような意味があるのか考えさせるとともに、1つ1つの実験を大切にしながら、実験器具の基本操作の定着を図っていきます。

**平成30年度 全国学力・学習状況調査  
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	12.5	16.8	36.9	23.8	7.4	2.5
	小野田小	0.0	9.5	90.5	0.0	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 家庭学習をする習慣が身についてきました。全校生で「宿題100%調べ」や「パワーアップカード」(生活連絡カード)を継続して実施してきた成果です。引き続き、東地区で取組んでいる「家庭学習の手引き」で、自主学習の仕方を指導しながら、家庭学習をすすめていきます。
- 家庭学習は、学校と家庭・地域の協力が不可欠です。「ふくしまの家庭学習スタンダード」を活用しながら、〈心の支え〉(お子さんのノートや学習プリントを見て、頑張った過程を認める)〈環境づくり〉(テレビを消し、お子さんが集中して学習できる環境をつくる)〈習慣作り〉(家族みんなで規則正しい生活をする)の3つを心がけ、学校と家庭・地域が連携して児童の育成を図っていただけるように、引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	全 国	30.7	36.9	21.1	5.3
6	小野田小	14.3	76.2	9.5	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「自分で計画を立てて勉強をしている」という児童がさらに増えるように、学級活動などで学習や生活の目標、計画を立てる機会を設けていくとともに、「やってみたい」「知りたい」という学習課題へのアドバイスをしていきます。
- 日常生活において、学習や生活を振り返るように声かけをしたり、東地区の「家庭学習の手引き」や「ふくしまの家庭学習スタンダード」を活用しながら、自己の学習内容や方法を見直させたりし、マネジメントする(自己管理)能力を育てていきます。

3 普段(月～金)、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全 国	7.8	11.5	21.8	25.1	14.9	18.7
6	小野田小	4.8	14.3	52.4	23.8	4.8	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 昨年度と比べると、「10分以上読書をしている」と答えた児童が増えました。担任や学校司書が図書館で本を借りるように呼びかけたり、「ビブリオバトル」を今年度も開催したりと、本に親しむ機会を多く持ってきた成果の現れです。また、学年ごとに読書のページ数や冊数といった数値目標を掲げたり、学校で読んでいる本を家庭に持ち帰って読むように促したりもしてきました。引き続き、学校全体で読書に力を入れた取組をしていきます。
- さらに、質の高い読書活動になるように、どの本を選べばよいかなどのアドバイスを学校司書と連携して行っていきます。

4 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

		ねている	どちらかとい えばねている	あまりねてい ない	全くねていな い
小	全 国	41.4	35.6	17.2	5.7
6	小野田小	23.8	57.1	19.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 児童に話を聞くと、夜遅くまでゲームをしたり、テレビをみたりしているため、夜、決まった時刻に寝ていないとの回答がありました。心と身体の健康のためにも規則正しい生活は大切です。学校でも「早寝、早起き」の効果を話し、声かけをしていきますので、ご家庭でも「早寝、早起き」の習慣が身につくように、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

5 5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。

		当てはまる	どちらかとい えば 当てはまる	どちらかとい えば 当てはまらない	当てはまら ない
小	全 国	40.1	34.3	18.3	7.2
6	小野田小	85.7	14.3	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 地域との関わりを多く持つために、昨年度から地域の講師を積極的に招き、特産物を調べ作るという体験活動を、全学年で数多く取り入れてきました。また、今年度は、「小野田地区をもっと知ろう」と地域の名所めぐりも行いました。これからも地域素材や人材を生かす学習を大切に、地域に愛着を持つ児童を育てていきます。
- さらに、地域の行事に積極的に参加するように促したり、地域社会のボランティア活動に参加させたりする取組も行っていきます。